

MESSAGE

ごあいさつ

地域課題解決拠点としての教育・研究機関を目指して

時代が大きく変化していくと予測される中で、「AI（人工知能）によって仕事なくなる」という話を見聞します。外国の研究者や野村総研などの調査では、10年～15年後の2030～2035年には人間の仕事の約27%～50%が人口知能ないし機械によって代替され消滅すると予測しています。同時に、新たなテクノロジーの導入による失業などは、いつの時代にも繰り返されてきた出来事でもあります。新しいテクノロジーは人間の仕事を奪うと同時に、新しい仕事を生み出していることも事実です。

2000年にノーベル経済賞を受賞したシカゴ大学のジェームス・ヘックマンは人間の能力を「認知能力（知能検査などで測定できる能力）」と「非認知能力（意欲、忍耐、自制、協調、共感などのこころの部分である能力）」に分けて、教育においてあまり注目されてこなかった「非認知能力」の重要性を指摘しています。「人生で成功するかどうかは認知的スキルだけでは決まらない。非認知的な要素、すなわち精神的健康や根気強さ、注意深さ、意欲、自信といった社会的・情動的性質も欠かせない。学力検査やOECD生徒学習到達度調査（PISA）などによるテストに測定される、認知的スキルばかりが注目されがちだが、じつは非認知的な性質も社会的成功に貢献している」とヘックマン教授は指摘しています。

浦山学園は、「地学一体による地域課題解決拠点」としての教育・研究機関を目指していますが、AIとの共存社会がやってくる中で、知識の向上は勿論ですが、人工知能やロボットなどの機械に負けない、「非認知能力」を更に強化していくことが重要だと考えています。中でも、素材がない状況から何かを生み出す「クリエイティビティ」やヒトとヒトの信用の基盤となる情動的感性の「ホスピタリティ」などは、人間だけが持つ「非認知能力」を育成する重要な観点だと有識者たちは述べています。

浦山学園は、時代が大きく変化しようとしている中で、「地学一体による地域課題解決拠点」の強化を目指し、より高度な教育コンテンツの構築に向けて教職員と学生そして地域が一体となって取り組めるように挑戦します。

今後ともより一層のご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



学校法人 浦山学園

理事長

浦山 哲郎

urayama philosophy

【建学の精神】

1 質実明朗

1 知行合一

【教育理念 (Mission)】

質実明朗な人格形成および

知行合一な人材養成

【教育の理想 (Vision)】

『地学一体による地域課題解決拠点』

としての教育・研究機関

【行動規範 (Value)】



Learning

（よりよく学び）

Behavior

（よりよく振る舞い）

Compassion

（常に思いやりをもって）

Aspiration

（より高い抱負で）

HISTORY OF THE SCHOOL

学園の歩み

1966	昭和41年4月	—	中央予備校開校
	昭和41年12月	—	学校法人 浦山学園認可
1968	昭和43年4月	—	中央経済専門学校開校
1970	昭和45年4月	—	中央経済専門学校を富山経済専門学校に校名変更
1972	昭和47年4月	—	中央予備校富山校開校
1976	昭和51年4月	—	中央予備校金沢校開校
	昭和51年5月	—	富山経済専門学校商業実務専門課程設置
1980	昭和55年7月	—	中央予備校金沢校を金沢中央予備校に校名変更
1982	昭和57年4月	—	中央予備校を中央予備校高岡校に校名変更
1988	昭和63年7月	—	富山経済専門学校文化教養専門課程設置
1997	平成9年4月	—	富山福祉短期大学開学 社会福祉学科設置（入学定員100名）
2002	平成14年4月	—	富山福祉短期大学社会福祉学科に社会福祉専攻（入学定員100名）、介護福祉専攻（入学定員50名）設置 富山経済専門学校を富山情報ビジネス専門学校に校名変更 工業専門課程、教育・社会福祉専門課程設置
2004	平成16年4月	—	富山福祉短期大学社会福祉学科に社会福祉専攻（入学定員50名）、介護福祉専攻（入学定員50名）、児童福祉専攻（入学定員50名）設置
2008	平成20年4月	—	富山福祉短期大学看護学科設置(入学定員80名)
2010	平成22年4月	—	富山福祉短期大学幼児教育学科設置(入学定員50名) （社会福祉学科児童福祉専攻募集停止）
2013	平成25年3月	—	富山福祉短期大学訪問看護ステーション開設
2016	平成28年11月	—	中央予備校富山校廃校
	平成28年12月	—	創立50周年を迎える
2020	令和2年4月	—	富山福祉短期大学国際観光学科設置(入学定員30名)
2022	令和4年4月	—	富山福祉短期大学専攻科看護学専攻設置(入学定員30名)

CAMPUS

学国内



浦山学園設置校のご紹介

富山福祉短期大学



福祉社会に貢献できる社会性・創造性豊かな人材の育成

富山福祉短期大学は、平成9年に北陸初の社会福祉学科を有する短期大学として開学し、その後、3学科・2専攻の設置にいたりました。さまざまな問題を迎える日本において、福祉・介護・看護・教育職は人類の輝ける未来を決める大きな要因を担っていると考えます。その期待に応えるべく、建学の精神のもと、有用な人材育成を目指しています。充実した2・3年間のカリキュラムにより、広い知識と確かな技能を習得し、福祉社会が求めるスペシャリストを養成しています。福祉は人が人を支える仕事。専門的な知識に加えて豊かな人間性を備えた人材が強く求められます。その本学が根底に持つ共創福祉の精神を基盤とし、さらに時代が求める「全ての人の幸せづくり」を実現するために令和2年地域創生とインバウンド対応に資する人材育成を目指して国際観光学科を開設しました。本学では、スキルの向上を図ると共に、社会性の優れた人間形成にも力を入れた教育を行っています。教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」には、常に「今の自分を受け入れ、乗り越え、成長させていく」という思いが込められています。学生たちはすべてのカリキュラムを通してこの考え方を学び、身につけています。

- 社会福祉学科(2 年制) ●看護学科(3 年制) ●幼児教育学科(2 年制)
- 国際観光学科(2 年制) ●専攻科看護学専攻

お問い合わせダイヤル **TEL 0766-55-5567**

〒939-0341 富山県射水市三ヶ579

TEL 0766-55-5567 FAX 0766-55-5568

URL <https://www.t-fukushi.urayama.ac.jp/>

E-mail fukushi@urayama.ac.jp



富山情報ビジネス専門学校



社会性・創造性・国際性豊かな自分づくりを目指して

富山情報ビジネス専門学校は、学生の夢や目標の実現に向けて、実社会で役立つ人材として必要な社会性や創造性、国際性など、総合的に豊かな「人間力」を鍛えながら、自分の目指すスペシャリストとしての専門的な知識と、即戦力となりうる高い技術力を身につけ、地域社会において必要とされる人材を育成しています。また、平成26年には、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する教育機関として、文部科学大臣が認定・推奨する「職業実践専門課程」の認定を受けました。これは、専門分野の知識や技能の習得はもちろんのこと、社会人として必要な素養教養、そして時代のニーズに沿った教育内容により、「社会への円滑な移行」を支える職業教育機関としての証でもあります。また、近年は地域貢献事業として、小・中学生対象の職業体験講座や求職者を対象とした職業訓練講座、社会人の資格取得をバックアップする「資格の学校TAC富山校」など、年齢や時期に関係なく地域のみならず「学習」の機会を提供する「生涯学習機関」としての事業を数多く取り入れています。

- 情報システム学科(2 年制)プログラミング専攻/ロボット・IOT 専攻/クラウド専攻/ゲームクリエイター専攻
- 情報ビジネス学科(2 年制)データマーケティング専攻
- Web クリエイター学科(2 年制)Web クリエイター専攻
- 建築・デザイン学科(2 年制)建築専攻/建築 CAD 専攻/空間情報専攻
- 医療事学科(2 年制)医療事務専攻/医薬品登録販売者専攻
- 診療情報管理士研究科(1 年制)
- ホテル・ブライダル学科(2 年制)ホテル・ブライダル専攻
- 公務員学科(1 年制)公務員専攻
- インターナショナルビジネス学科(2 年制)インターナショナルビジネス専攻
- 日本語学科(1 年課程、1.5 年課程、2 年課程)日本語専攻

お問い合わせダイヤル **0120-55-1420**

〒939-0341 富山県射水市三ヶ576

TEL 0766-55-1420 FAX 0766-55-0757

URL <https://www.bit.urayama.ac.jp/>

E-mail bit@urayama.ac.jp



学校法人浦山学園 富山福祉短期大学 訪問看護ステーション



平成 25 年 4 月 1 日に念願の富山福祉短期大学訪問看護ステーションを開業いたしました。学校法人として単独で訪問看護ステーションを開所したのは全国初となる試みです。

訪問看護は、小児から高齢者まですべての方を対象にしています。

住み慣れた場所で穏やかに安心して過ごしたいという利用者様の想いに寄り添い、医療、介護の連携のもと、多様なニーズにもできるだけお応えできるように日々活動しています。

また、人口・社会構造の変化に伴い、社会生活上の支援ニーズが多様化・複雑化していることを受け、令和 3 年 10 月 1 日からは、富山市野町に富山福祉短期大学訪問看護ステーション呉羽サテライトを開業いたしました。

在宅の医療・介護に目配りでき、安心を提供できる訪問看護としての役割を果たしていきたいと思っております。

そして、夢と自信と使命感を持って在宅看護に従事する、次世代を担う専門職業人の育成にも努め、豊に暮らし続けることができる地域づくりに貢献したいと願っています。

お問い合わせダイヤル **TEL:0766-55-2941 FAX:0766-55-2942**

〒939-0341

富山県射水市三ヶ 579

TEL:0766-55-2941 FAX:0766-55-2942

URL <https://www.homonkango.urayama.ac.jp/greeting.html>

E-mail: hokan@urayama.ac.jp



心と体と知の健やかな成長を願って

社会福祉法人 浦山学園福祉会は、市立作道保育園の民営化にあたり、学校法人 浦山学園においての教育・研究により培ってきた社会福祉の精神や保育に対する識見を活かし、地域から真に求められる福祉サービスを提供することを目的として、平成18年3月に設立認可を受けました。平成18年に新湊作道保育園、平成21年に新湊作道子育て支援センター、平成24年に小杉西部保育園および三ヶ児児童館の運営を開始し、乳幼児の生命の保持と情動の安定を図る児童福祉施設として、保護者や地域の方々と連携し、子どもたちの最善の利益を尊重しながら、生きる喜びと困難な状況に対処する力・豊かな人間性を育てることを理念としています。また、保育目標として「心と体と知の健やかな成長」を掲げ、0歳から就学前までの子どもの個人差に十分配慮し、一人ひとりの発達過程に応じたきめ細かい保育を行うことに加え、音楽・体操・読み・書き・計算といった教育の面にも力を注ぎ、就学への連続性も重視し養護と教育を一体的に展開する保育園運営を行っています。



新湊作道保育園

新湊作道子育て支援センター

〒934-0044 富山県射水市殿村115番地
TEL 0766-82-8787 FAX 0766-82-8782
URL <https://www.sth8787.net>
E-mail sth-8787@tko.fitweb.or.jp



小杉西部保育園

三ヶ児児童館

〒939-0341 富山県射水市三ヶ933番地1
TEL 0766-55-3330 FAX 0766-55-3330
URL <https://kosugiseibu.sth8787.net>
E-mail kosugiseibu01@globe.ocn.ne.jp

